

ラジオママネット ～ママトーク～

第 13 回放送の概要（2018 年 5 月 26 日）

本日のテーマ：「叱る？叱らない？」

赤ちゃんの声は癒しで、泣いていても許せます。他人のこどもの声は癪に障らない。レッスンで赤ちゃんがたくさん集まっても、他人の子供の赤ちゃんがどんだけ泣いていてもママたちは平気。笑えるくらいの余裕があるが、自分の子供の泣き声はお母さんがすぐにキャッチ出来るようになっているので余計癪に障る声に感じるそうです（ちおんちゃん）。

まきちゃんは今日小2の7歳の女子を連れてきているが、6年前は赤ちゃんであったことを思うと成長が早いと思う。長女は中1で吹奏楽部に決まった。2番目は小5の男子。今仕事を探しており説明会に行ったりしている。

かずえちゃんは30代後半、今日は8か月の子供を連れてきている。最近新長田駅の近くの大正筋商店街にできた子育て総合支援施設「KIT」で働き始めた。

ちおんちゃんは30代、2歳8か月の男の子。今日家を出る間にコップ1杯のお茶をぶちまけられた。家に置いていくという負い目もあり、ぐっところえて怒らず、こどもにこういう時どう言うのというと、ごめんねと言われた。自宅と元町の神戸まちづくり会館で、赤ちゃんとママが集える場所を作りたいと思い、ベビーマッサージとベビーマッサージのレッスンをしている。元町は第2、第4固定、自宅は自分の都合の合間をぬって行っている。この程度なら家族にしわ寄せはいかない。一時保育に行かせながら、自分のやりたい自分の好きな仕事をし、こどもと一緒に過ごす時間を作っている。

まきちゃん：リスナーからのラインが来ています。こどもが危険な行為、人に迷惑をかける行為、その他人に嫌われたり嫌がられたりする行為を自分のこどもがした場合、みなさんどうしているか気になります、という質問です（子育て中の30代のママより）。

まきちゃんが小2の娘と鷹取駅から徒歩で来るとき、信号機のない横断歩道を渡っている途中で頭に置いたタオルが風で飛んだ。拾っている時にバイクが来たらどうすると聞くと、バイクに当たり危ないと思うという返事だった。横断中にやっではいけないことだねと確認した。次の時にしてはいけないことを見た時は、なぜ危ないかを考えてもらうための問いかけをしている。嫌な雰囲気でもどもといたくない。腹の立つことは四六時中起こるので、感情で怒ることに疲れてきた。

ちおんちゃんは、自分の言うことをこどもが理解し始めたころ、自分の感情もヒートアップする時期になり、それに対しこどもも反応してくる。自分がわっとなった瞬間、自分を抑えられなくなってくる。1歳半～2歳になってくるとイラッとポイントが多すぎて、自制しなければと思う自分と、できた人間でないで自分の感情が優先する時があり、後で自己嫌悪に陥ることがある。寝顔を見てごめんと思う。

まきちゃん：この言い方あかんかったとか、感情で怒ってしまったとか、こどもに昨日の言い方は悪かった、ごめんねと言うことはあるかについて、

ちおんちゃんの家は翌日まで繰り返すことはなく、自分がやってしまったときはとりあえず謝る。そしてその時のいきさつをこどもに話す。言うことで自省ができる。客観視する冷静な自分がいる。主人と喧嘩している最中に客観的な自分がいることに気づく。他人から見ると急に怒っているけど急に冷静になっているので驚くと思う。**まきちゃん**の母親は、怒り切ってしまうタイプで、その日にごめんと言っても何がごめんなん、もっと考えてから言えと言われ、どうすれば機嫌を直してもらえるかずっと考えていた。翌朝でもぶすとしていた。**かずえちゃん**はどうせ謝っても許されないなら謝るエネルギーを節約しようと思った。真面目さが足りないとよく怒られていた。今その理由がわかった。

まきちゃんが今日こどもに注意したポイントはすごくいいと思うが、**ちおんちゃん**は今2歳8か月の息子に話しても意味はないと思っている。その子の年齢や性格に合った伝え方を見つけるのが大事と思う。よくなんでこれをしたのと問いただす親、理詰めで説明する親、自分のこどもが相手のこどもをたたいた時、自分の子供をたたいて教える親、3歳くらいまでは大人が思っている以上に伝わっていないので、身をもって伝えようとしても痛いということしか残らないので、自分がしたことがいけなかったことにまで思いが及ばない。そのような行為をこどもはとっさにやってしまう。言っても全く効かないんですというお母さんのタイプ、へらへらしているお母さんのタイプもある。**まきちゃん**は最近発達障害という言葉を知るのでそういうタイプかなと思うことがある。中1で授業中静かに聞けない授業を乱すこどもがいる。ひとつ上の学年の参観でそのような状況を見ていたので、その学年は小学校の時から自己主張するこどもが多いので、クラスが荒れたりが多くそうかなと思っていたが、わが子の学年も数学の授業で先生にちょっかいをかけていた。授業中は皆に迷惑をかけないことを教えられずにきているのか、それができない性格的なものなのか、そうならば40人が一緒に授業を受けるのがそぐわない。

ちおんちゃんはこどもは親の姿を見て必ず育っていると思っており、例えば児童館にこどもを連れて遊びに行くと、先生が30分間ほど話をしてくれたりする場合、こどもに先生のお話を聞こうと言ってくれるお母さんと、おもちゃを出し始め立ちもせずあー行っちゃったと見てるだけのお母さんとの違い。今はこういう時間だといえるお母さんでないと、こどもにはそれでOKということになる。ちおんちゃんはそういうことに気をつけたいと思い、人に会えば挨拶をするという小さなレベルのことから大事と思う。人間社会で生きていくにはルールがあり、人に合わせる部分もあり、親がどれくらいどういう姿勢で社会の中で生きているかに関係していると思う。子供の性質にもよる。

まきちゃん：こどもといくら真面目に向き合ってもだめというタイプのこどももいる。その母親にもっとちゃんとしたらいいのにということではない。叱るよりほめてばかりで育てているかについて、

ちおんちゃんは怒ると叱るの違いは分かっているが怒ってしまうことがあり、しかもう一人の自分

がいるので、これ以上言うともどもが泣き、どうせめんどくさくなるのがわかるので、こどもになん
でしまったのかなと言って収める。今日家を出る時のこどもとのことは、謝れたからいい、牛乳でな
くてよかったと思う。許せるレベルが自分の中で緩くなってきている。こどもがかawaiiそう
で自分が嫌いになる。

お知らせ：

毎月第4土曜日の12時～15時にカトリック兵庫教会で行われているこども食堂は、こども無料、
大人500円でバイキング形式の昼ご飯をみんなと一緒に食べましょう。5月は打楽器とピアノのアン
サンブルグループが演奏しました。詳しくはfacebook「こどもわくわく食堂」で検索してください。

毎月第4土曜日10時～15時に開催されている会下山プレーパークは、地下鉄上沢駅から北に歩いて
行ってください。子供の自由な発想で楽しむことができる遊びがいっぱいです。

以上